

薩摩おごじょのサラブレッド、ゲヴェルツが引退競走馬杯に参戦

賞金総額100万円をかけた熱い戦い！競馬を引退したサラブレッドの馬術大会、引退競走馬杯にゲヴェルツが出場しましたので発表いたします。

令和2年8月21日（金）～8月23日（日）にかけて岡山県吉備中央町にある岡山乗馬倶楽部にて岡山グランプリホースショー2020オータム大会が開催されました。この度、ホースパートナーズが運営する馬旅倶楽部が支援しているゲヴェルツが本大会期間中に実施された引退競走馬杯に初出場いたしました。

• 【ゲヴェルツの紹介】

ゲヴェルツは父アラムシャー、母の父アグネスデジタルという良血のサラブレッド。鹿児島県で生まれた九州産馬です。"速く走る"ために競走馬として生を受けたゲヴェルツでしたが、一度も競馬場のターフを駆けることなく競走馬生活を終えることになりました。第二の馬生を歩むため競走馬引退後は乗用馬としての2年近くに及ぶ"リトレーニング"を受けましたが、残念ながら買い手が付くことはありませんでした。4歳になった現在、ゲヴェルツは多くの人の支援で活動資金を得ることに成功し、馬術競技馬として輝くためにその"原石"を磨いています。



ゲヴェルツと担当者の坂根さん

©Ryosuke KAJI



最初はとても臆病だったが、今は人懐こい性格とのこと

©Ryosuke KAJI

岡山に来た当初はとても神経質だったというゲヴェルツ。担当者の坂根さんによるとトレーニングを始めた当初は手入れや馬装をするのも嫌がったため大変苦労したそうですが、ゆっくりと時間をかけて人への恐怖心を取り除き、環境にも慣れさせていきました。性格は「気が強い女性。嫌なことは嫌だとハッキリ言える女性ですね（笑）」とのこと、多くのサラブレッドが北海道で生まれる中、薩摩産まれという土地柄の影響もあるかもしれません。

• 【引退競走馬杯への挑戦】

そんなゲヴェルツですが、クラウドファンディングの実施により競技に出場するために使用する馬具を揃え、この度、引退競走馬杯に初めて出場いたしました。



©Ryosuke KAJI

引退競走馬杯に参加したゲヴェルツ

リラックスして競技に挑みたいと言って競技会場に向かった担当者の坂根さん。その表情は真剣そのもの。日々のトレーニングを積み重ね、坂根さんとゲヴェルツの絆は間違いなく深まってきました。

引退競走馬杯での出番は4番。早くも坂根さんとゲヴェルツの順番が回ってきました。ふたりは順調にコースを回っていたものの、途中、一度の障害バーの落下があったため入賞には至りませんでした。競技を終えて戻ってきた坂根さんから開口一番「次、また頑張って挑戦します!」という言葉が返ってきました。坂根さんは現在22歳。ゲヴェルツの年齢は4歳ですが、人間に置き換えると実は20代前半の同世代。若い彼女たちの挑戦はまだ始まったばかりです。



©Ryosuke KAJI

坂根さんとゲヴェルツの物語は始まったばかり



©Ryosuke KAJI

競技終了後に放牧されるゲヴェルツ

• 【引退競走馬杯について】

引退競走馬杯は2018年より新しく始まった馬術競技で、引退したサラブレッド又は未出走馬に限り出場が可能です。今年は全国各地で地区大会が催され、3位以内に入賞したサラブレッドはファイナル大会への出場権を獲得できます。なお、ファイナル大会は12月6日（日）にJRA日本中央競馬会馬事公苑の主催により東京世田谷区のJRA馬事公苑で開催を予定しています。また、地区大会においては賞金総額100万円となっていますが、ファイナル大会では更に賞金額が高くな

ると発表されています。

- 【馬旅倶楽部について】

現在、ホースパートナーズが運営する馬旅倶楽部ではONE TEAMでゲヴェルツの活動を支えています。より多くの皆さまに乗馬の魅力、馬術の魅力、そして引退馬支援について知っていただき、この活動を支えていただけたら幸いです。

馬旅倶楽部 : <https://community.camp-fire.jp/projects/view/204113>

ホースパートナーズのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/55253

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

ホースパートナーズ 広報担当 : 戸苅

電話 : 0532-43-6746 FAX : 0532-43-6747

メールアドレス : information@horse-partners.com